

# 高度な医療を より多くの人々が より早く



## 拠点病院30分圏の人口が1.5倍に

国道175号などの道路整備や、新たな医療センターの整備などにより、沿線<sup>※1</sup>にある各拠点病院<sup>※2</sup>に30分以内に到着できる人口が約1.5倍に増加。地域の医療環境が大幅に向上しました。

昭和55(1980)年【5%】  
約465,000人

平成26(2014)年【52%】  
約711,000人

※1 丹波市、西脇市、三木市、小野市、加東市、神戸市西区、明石市  
 ※2 第2次医療機関以上の病院  
 出典 国土交通省調べ  
 (算出方法)  
 未整備区間はH22センサスの混雑時旅行速度、整備済区間は規制速度より算定  
 【 】内は国道175号(指定区間)におけるバイパス等の4車線区間の整備率

## 病院間の連携が進展

北播磨医療圏では、北播磨総合医療センター、市立西脇病院の機能強化により、総合的な救急医療体制が確立しました。また、各病院の特性を活かした救急医療等の拠点を整備しています。

国道175号によって各医療機関のネットワーク化が進み、小児救急、周産期医療、脳血管疾患、心疾患をはじめとした救急医療体制が構築されています。

また、国道175号は丹波医療圏から北播磨医療圏等の他圏域への救急搬送ルートにもなっています。

